

第78回 定期総会 **重要**

(第209回定時代議員会合併)

会費(協会会員)月額6,500円に改定

7月27日の第78回定期総会におきまして、2025年8月からの会費引き上げが承認されました。

この間、保険医協会は主たる収入(会費・各種共済制度の運営事務費)の減少が続く中、昨今の物価高騰等が協会の財政難に拍車をかけていましたが、このままでは会員へのサービス低下につながると判断し、40年ぶりの会費の改定を提案、ご承認いただいたものです。

25年8月より、協会会員(開設・管理者、家族等の同族勤務医含む)の会費は月額6,500円(+1,000円)、協会勤務医会員の会費は一律5,500円(医育機関の減額を廃止)となります。病院勤務医対象の共済制度利用勤務医会員と研修医会員に変更はありません。

会員の皆さまにはご理解を賜りますようお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら協会事務局(TEL075-212-8877)までお問い合わせ下さい。

主張

つい先日、ナイチンゲールの生涯をモチーフにした演劇を見た。クリミアの天使と呼ばれた人の解説は不要であろうが、巧みな演出も相まって感動の連続であった。まさしくクリミア戦争が舞台であるため現状と重なる部分があり、一層シリウスに感じる部分が多かった。病める人々に寄り添い生涯をささげる姿はまさに天使であり、医療人を目指す若人必見と思った

と同時に、そういえば本稿執筆中の現在、参院選真っただ中であることを思い出し、議席を争う候補者にもぜひとも本公演を見て、医療の持つ本質を再確認して

保険料軽減も国民皆保険危機

ただけなら淡い期待を抱くこともあった。本紙発行時には当然選挙結果も判明しているはずであり、民意に基づく政策が実行されていくことになる

OTC類似薬の処方までなくなった場合の影響は計り知れない。保険外しをされてからの取扱いの詳細がまだ決定されていないが、例えば「ロキソプロフェ

ン」を例にとってみると、院内処方での医療機関では保険適用の薬剤と合わせて処方できなくなる可能性があり、その場合はわざわざ他

とは想像に難くない。何度も言うが、医療者側、患者側とも大きな打撃となる。ある政党の主張では、この結果公的医療費が数兆円削減され、ひいては社会保険料が軽減されるとい

図1 OTC類似薬の保険外し

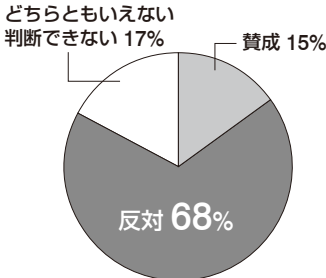


図2 OTC薬を処方した際の技術料の選定療養化により保険給付範囲が縮小されること

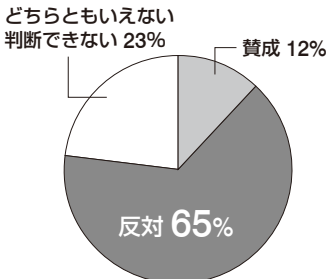


図3 スイッチOTC化の推進

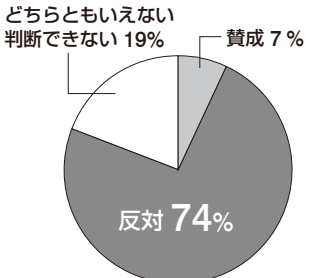
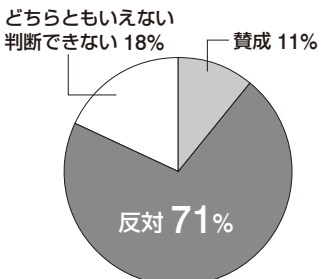


図4 「セルフメディケーションの推進」という言葉を用いて患者負担増が狙われていること



7月31日には福山副理事長がマスメディア向けの記者会見を開き、結果報告と問題点を指摘した(詳細は後日掲載予定)。

かかりつけ医機能報告は「特定機能病院および歯科医療機関を除く、病院および診療所」に報告義務を課す。ほぼ全ての医科医療機関が対象となる。都道府県への報告が求められるのは「1号機能」として「17の診療領域※への対応可能な有無」「患者の相談に応じることができる」等。「1号機能を有する医療機関」

※皮膚・形成外科領域、神経・脳血管領域、精神科・神経科領域、眼領域、耳鼻咽喉科領域、呼吸器領域、消化器系領域、肝・胆道・膵臓領域、循環器系領域、腎・泌尿器系領域、産科領域、婦人科領域、乳腺領域、内分泌・代謝・栄養領域、血液・免疫系領域、筋・骨格系および外傷領域、小児領域

万博が開幕して半分経過した。開幕時未完成だったパビリオンも開館した。空飛ぶクルマも飛んだ。今までなら、開幕時に完了していたであろう。目標を掲げても達成できなかった。日本は社会全体で目標に向かうことがなくな

OTC類似薬の保険外し「反対」7割

アンケート結果に基づき 導入阻止へ運動

協会は7月27日の第78回定期総会で「OTC類似薬の保険外し、OTC薬処方時の技術料の選定療養化」

のファクス登録会員アンケートの結果を公表した。OTC類似薬(保険薬、医療用医薬品)の保険外し

に回答者の68%が「反対」、OTC薬(市販薬)を処方した際の技術料の選定療養化により保険給付範囲が縮

小されることに65%が「反対」、スイッチOTC化の推進に74%が「反対」、「セルフメディケーションの推

進」という言葉を用いて患者負担増が狙われていることに71%が「反対」した。本アンケートは協会が毎年総会開催時に実施しているアンケートに代えて全会員医療機関を対象に緊急実施した。対象者は1505人、回答者は198人(回答率13%)。アンケート結果の概要は図の通り。

アンケートでは、市販薬の服用・使用による副作用や重症化事例の患者からの相談事例の有無、患者の自己判断による服薬に危険を感じる市販薬の有無と具体的な危険性にも質問した。詳細は協会ホームページに掲載している。

7月31日には福山副理事長がマスメディア向けの記者会見を開き、結果報告と問題点を指摘した(詳細は後日掲載予定)。

かかりつけ医機能報告は「特定機能病院および歯科医療機関を除く、病院および診療所」に報告義務を課す。ほぼ全ての医科医療機関が対象となる。都道府県への報告が求められるのは「1号機能」として「17の診療領域※への対応可能な有無」「患者の相談に応じることができる」等。「1号機能を有する医療機関」

万博が開幕して半分経過した。開幕時未完成だったパビリオンも開館した。空飛ぶクルマも飛んだ。今までなら、開幕時に完了していたであろう。目標を掲げても達成できなかった。日本は社会全体で目標に向かうことがなくな



購読料 年8,000円
送料共 但し、会員は会費に含まれる
発行所
京都府保険医協会
〒604-8162
京都市中京区烏丸通蛸薬師上ル七観音町637
インターワンプレイス烏丸6階
電話 (075) 212-8877
FAX (075) 212-0707
編集発行人 花山 弘

主な内容
新理事あいさつ (2面)
新連載 かんぼう趣談 (4面)
上野千鶴子氏講演「介護保険は親や自身の老後を保障」 (4面)

ご用命は
アミスまで
●医師賠償責任保険
●休業補償制度(所得補償、傷害疾病保険)
●針刺し事故等補償プラン
●自動車保険・火災保険
TEL 075-212-0303

かかりつけ医機能 “ガイドライン”

厚労省通知

が報告する「2号機能」としては「通常の時間外の診療」「入退院時の支援」「在宅医療の提供」等。知事は「報告された内容および体制の確認結果」を公表し「協議の場」を設定する。

11月には都道府県から対象医療機関に依頼、26年1月から医療機関からの報告と都道府県の確認が始まる見通し。これまでの病床機能報告が地域医療構想の基礎データに使われ「病床機能分化」と「必要病床数設定」による病床数抑制であつたことに照らせば、今回の報告制度は診療所の機能分化と「数」の管理へ国が本格的に乗り出すものとして注視が必要である。

※皮膚・形成外科領域、神経・脳血管領域、精神科・神経科領域、眼領域、耳鼻咽喉科領域、呼吸器領域、消化器系領域、肝・胆道・膵臓領域、循環器系領域、腎・泌尿器系領域、産科領域、婦人科領域、乳腺領域、内分泌・代謝・栄養領域、血液・免疫系領域、筋・骨格系および外傷領域、小児領域

…… 2025年度就任 ……

新理事あいさつ



経営部会

日下部 素子 (西陣)

この度、京都形成外科医会の要請を受け、京都府保険医協会の理事を拝命いたしました。京都府形成外科医会では、形成外科に限らず、どの診療科にも共通する課題かと存じますが、保険診療の枠組みにおいては、形成外科の高度な手技やその精密さが、必ずしも正当に評価されていない現状があるように感じております。今後、京都形成外科医会の意見を適切に集約・発信していけるよう努めてまいります。

これまでの経験を活かし職責果たしたい

本年6月より医療安全担当理事に就任いたしました石田博でございます。日常診療において、新規個別指導の助言を賜り協会にはお世話になっており、多くの諸先輩方を先生にご助言を賜り職責を全うする覚悟でございます。生誕の地石京区太秦にて、リウマチ・膠原病などの免疫難病の患者さんを診てお

医療安全対策部会
石田 博 (右京)



医療安全対策部会

情報共有と開示で医療者も患者も前を向く

今期より理事に就任いたしました松原為人です。部会は医療安全を担うことになりました。自身も3月までは京都民医連中央病院の管理者としてさまざまな事例に関わってきましたが、医療者側と患者側に情報の非対称性があることが十分には理解されておらず、患者の権利を尊重し意思決定を行うための十分な情報を提供し、かつ十分に理解ができるように援助を行うことができていないか、不十分な点が多々あると感じています。起きてしまった事案の解決に向けて、医療者側・患者側がともに前を向いてゆくためにも、情報共有の重要性と情報開示の意義を問い直してゆきたいと思っています。これからもよろしく願っています。



医療安全対策部会

松原 為人 (右京)

違いを越え互いに協力し、より良い方向へ

この度、保険部会理事を拝命いたしました松村博臣です。1991年京都府立医科大学を卒業、当時の第一外科に入局しました。京都第二赤十字病院、京都府立医科大学大学院、洛西ニュータウン病院を経て、2019年5月に山科区北花山で「まつむらクリニック」を開院いたしました。医療環境はかつてないほど大きな変化に直面し

保険部会

松村 博臣 (山科)



審査委員が改選

基金審査委員長に福州修氏
国保審査会長は山下直己氏

任期満了に伴う支払基金・国保連合会両審査委員 1月1日付で行われた。委嘱

された医科の審査委員は表の通り。基金は86人、国保は79人。基金の審査委員会委員長は福州修氏(新・外科)が、副委員長に余みん(新・内科)が選出された。両審査委員の任期は、いずれも27年5月31日までの2年間。

専門科		診療担当者代表		保険者代表		学識経験者代表		専門科		保険医代表		保険者代表		公益代表		
支 払 基 金	内 科	北川 靖 若林 正之 沖 映希 角水 正道 出木谷 寛 今井 昭人 横松 孝史 井原 裕 志村 和穂 安威 俊秀 ☆武田 敏宏 ☆濱中 正嗣	江村 正仁 久米 典昭 小林 正夫 吉波 尚美 山下 浩平 廣瀬 亮平 杉山 博 沢田 尚久 中谷 嘉文 井上 啓司 橘 洋正 土居健太郎 ☆谷澤 公伸	田上 哲也 井本 雅美 吉田 憲正 ○余みんてつ 藤田 祝子 國枝 恒治 寺村 和久 松室 明義 田代 雅裕 松下 匡孝 ☆原山 拓也		内 科	鈴鹿 隆之 勝島 慎二 小野 晋司 澤 美彦 松原 欣也 三木 真司 南 祐仁 小畑 寛純 湯山 令輔 大道 卓摩 ☆横井 宏和	安田健治朗 浅野 麻衣 小林 裕 正木 元裕 赤尾 昌治 小暮 彰典 石橋 一哉 内山 人二 中村 猛 ☆淵田 真一	畑 雅之 ◎山下 直己 ○牧山 武透 ○關 洋子 谷口 孝臣 十倉 明 増井 力 高木 智俊 伊地智俊晴 武田 貞子 小柳津治樹 坂本 眞一 渡邊 亨 森口 寿徳 葛西 恭一 木村 文昭 有本太一郎 ☆土谷美知子							
	精 神 科	☆廣兼 元太		三木 秀樹	精 神 科	☆吉田 洋美		澤田 親男								
	小 児 科	木崎 善郎 松尾 敏	若園 吉裕	天満 真二	小 児 科		浅井 康一	安野 哲也								
	外 科	濱島 高志 古家 敬三 猪飼伊和夫 尾池 文隆 ☆趙 秀之	神田 圭一 天谷 文昌 南都 昌孝 法里 高 藤 信明 ☆神山 順 ☆秦 浩一郎 ☆畑 啓昭	能見伸八郎 池田 義修 ◎福州 明浩 山口	外 科	中原 功策 野原 文裕 松村 博臣 松尾 宏一	角山 正博 高橋 章之 山本 司治 岡野 晋治 後藤 智行 塩飽 保博 白神幸太郎 庄林 智訓 ☆村上 陳訓 奥田 良樹 西尾 健	○柴垣 一夫 田村 耕一								
	整 形 外 科	鈴木 雅清 小室 元 仲俣 岳晴	吉岡 慎二 藤原 浩芳	菱本 修 中嶋 毅 岩田 啓史	整 形 外 科	岩下 靖史 廣嶋 芳城 土田 雄一 立入 久和 松井 美萌 橋本 哲也		内田 寛治								
	皮 膚 科	小川 純己	永田 誠	松木 正人	皮 膚 科			池田 佳弘								
	泌 尿 器 科	今田 直樹	中ノ内恒如	野々村光生	泌 尿 器 科			上田 朋宏								
	産 婦 人 科	渡邊 浩彦 細田 哲也	佐々木聖子 大久保智治	井上 卓也	産 婦 人 科			☆滝 真奈								
	眼 科	松本 康宏		岩見 達也 西田 惠理 富井 聡	眼 科											
	耳鼻咽喉科	牛嶋 千久	出島 健司	竹之内 剛 ☆廣田 隆一	耳鼻咽喉科	山崎 俊秀 岩間 大輔 畑中 宏樹 ☆奥沢 正紀 村上 匡孝	豊田健一郎									

◎基金委員長、国保会長 ○基金副委員長、国保副会長 ☆新任審査委員
(順不同・敬称略、基金・国保とも歯科・調剤審査委員を除く、2025年6月1日現在。『京都医報』(京都府医師会発行)2025年7月1日号を基に作成)

◎基金委員長、国保会長 ○基金副委員長、国保副会長 ☆新任審査委員
(順不同・敬称略、基金・国保とも歯科・調剤審査委員を除く、2025年6月1日現在。『京都医報』(京都府医師会発行)2025年7月1日号を基に作成)

求められる「帰れる場所」への再生

2024年1月1日に発生した能登半島地震被災地の能登北部医療圏（輪島市・珠洲市・穴水町・能登町）の医療課題に関する第2回目の調査活動（4月24日～25日）に協会事務局が参加した。調査は公益財団法人日本医療総合研究所の「災害と地域医療の研究会」によるもので、前回（24年12月）に続き、横山壽一氏（佛教大学・金沢大学）、長友薫輝氏（佛教大学）、井口克郎氏（神戸大学）、研究所専務理事の鎌倉孝氏とともに参加した。

今回の調査は珠洲市を中心に、ほとんど見かけない状態。宿泊でお世話になった「玉湯別館」は、被災前は道路を

公立病院の社会的使命を果たしたい

珠洲市総合病院では、診療体制は震災前にはほぼ戻すことができたものの、患者は6割程度にとどまるという

挟んだ海側に「本館」もあったが今は跡形もない。倒壊した本館では亡くなった方もいたという。

う。地域に住民が戻って来

ていないことも一因と考えられ、特に施設の損壊や職員退職などによる介護体制

困難の影響と考えられる。病院は壊滅した歯科診療を住民に提供するため、歯科



残されたままの被災家屋

営、在宅避難者・車中泊の方・高齢者や子どもの安否確認、水の確保、物資手配、DMATの差配などにあ

た。帰りたい人が帰れない状況は「人がいない、家がない、福祉施設も復活しない状況で、そんなところに戻っておいでとは言えない」と胸の内を明かす。

職員の退職で福祉施設も縮小

医療離脱の現実

特別養護老人ホーム（100床＋ショート8床）のスタッフは震災時、特養98人の入所者のうち86人が広域避難し、戻って来られた

のは59人だったと語った。後は入院や体力的な問題、避難先で亡くなった方もいるなど、さまざまな理由で戻っていない。施設は3月末に復旧したが職員不足で定員縮小する予定。7カ

保健師として地域に携わることの大切さ

自らも被災した保健師は、母を背負って避難する体験をしながら、避難所運

まっている。運営していた3カ所のデイサービスも復旧していない。職員も被災し、亡くなった人もいる。被災後3分の1が退職。特に子育て世代の人がいなくなった。震災1年後の元日は帰省する人もなく、ゴーストタウンさながらだったと語る。

総合的な政策提言を

研究会は夏にも3度目の現地調査を予定している。

「帰れる場所」としての能登の再生には、医療・介護の再生は不可欠である。だが医療・介護だけを考えるのではなく、「暮らし」全体に目を向けた総合的な政策提言が必要である。



新連載

「趣談」とは中国語で「面白い話」という意味です。漢方にまつわる面白い、でも役に立たないエッセイをお届けします。

田中 寛之（舞鶴）

漢方と神獣



「玄武」というと、現在「真武湯」の名で存在している。冷えに伴う下痢、めまいの薬である。北の神獣である玄武にちなんで、寒冷に対応するこの薬に名付けられた。構成生薬の附子が黒い（「玄」は黒いという意味もある）こともその理由である。

ではなぜ「真武湯」という名に変わったのかという



と、宋の皇帝の名、趙玄朗に配慮して「玄」の字が避けられたということだ。

薬の名付け方から見ても漢方は興味深い。四体の神獣の力を借りて、四季を上手に乗り切りたいものである。

今年も猛暑である。うちのような町医者にも熱中症の患者がちらほら来院する。そもそも自分で来られる程度なので基本的には軽症である。そんな時に重宝するのは白虎加人参湯である。補液を行った後に自宅で服用してもらうと翌朝にはすっきり治ることが多い。

さて、この白虎加人参湯の「白虎」であるが、東西南北の四方を守護する四神のうち西を守護する神獣である。中国の西方と言えは非常に乾燥している。いわば砂漠の気候である。体内の水分不足や熱を治す薬に「白虎」の名が与えられたのは

そういう由来がある。構成生薬の石膏が白いこともその理由の一つとされている。漢方には小青竜湯という薬もある。鼻炎や力ぜの薬として使われる。「青龍」は東を守護する神獣である。中国の東には海があるので多湿と言え

る。小青竜湯には鼻粘膜や気管の浮腫を取る作用があるのでこの名が与えられた。構成生薬の麻黄が青い（実際は緑色だが）のもその理由である。

では残りの二神、「朱雀」「玄武」はどうなったのか。現在日本で使用されているエキス剤にこの名はない。朱雀湯は泄下・利水薬として存在したのだが、その毒性の強さから現在ではほぼ使用されることはなくなった。



プロフィール

たなか・ひろゆき
1998年 自治医科大学卒業
2007年 たなか内科クリニック開設
内科・漢方診療に従事。
訳書に「漢方百物語」「老中医」。

親や自身の老後を保障 介護保険は若者も必需

上野千鶴子氏が講演

介護学習会「どうする？どうなる？介護保険 あなたの老後が危ない！」（主催：京都民主医療機関連合会、後援：京都府保険医協会）が6月20日に京都アスニーで開催された。講師の上野千鶴子氏（社会学者、東京大学名誉教授）は、介護保険制度は問題だらけで始まったが福祉の社会化の一步となったと述べ、今後狙われる介護保険制度の改悪を押しとどめるために声を上げようと呼びかけた。当日は定員400人を超える参加者が詰めかけ、上野氏の講演に聞き入った。

上野氏は、医療保険の赤字補填のために創設された介護保険制度ではあるが、25年経ち、介護は家族だけの責任ではないという国民的合意が作られたのは福祉の社会化の巨大な一歩だった。介護現場では経験値が蓄積されてスキルが上がり、今や地域医療において介護職がいなくては医師も看護師も働けないのが実態とした。一方で介護職の高齢化や低賃金、過去最多の



講師の上野氏

訪問介護事業所の倒産などの問題を指摘。介護保険制度の改悪で自己負担割合の増加、要介護1・2の通所介護の介護保険外し、ケアプランの有料化などが狙われ、介護が家族に戻されると（再家族化）懸念があると警鐘を鳴らした。

第43回
保険医団連大会
(大阪府保険医協会主催)
【日時】 9月21日(日)
12時～18時20分
懇親会 18時30分～20時
【場所】 大阪府保険医協会
M&Dホール
(大阪市浪速区幸町1-2-33)
【対象】 医師、ご家族、スタッフなど
【参加費】
①大会のみ3,000円
②大会+懇親会6,000円
③入門教室(入門セット進呈)無料
(懇親会6,000円)
【申込締切】 9月12日(金)
お申込み・お問い合わせ
大阪府保険医協会 (TEL 06-6568-7721)